

たか もり

高森の大ケヤキは県内2番目の巨木！



阿賀野川の土手から見た高森の丘

岡方地区に「高森の丘」と呼ばれる小高い独立した丘があります。

丘の頂上にある高森薬師堂の裏手に国土地理院が設置した三等三角点（標高約17.6m）の標石があります。豊栄地域では1番高いところです。

現在は、すぐ西に阿賀野川が流れているために寸断されていますが、この丘は、対岸の松山～茗荷谷～北山に続く砂丘列の一部だったと思われます。また、東側は水田で途切れていますが、城山～松影に続く砂丘列（新砂丘Ⅰ-3）の延長上と考えられています。かつてこの丘からは縄文時代中期～後期（5,000～3,000年前）の土器が発見されています。

この丘は2段になっていて、中腹には稲荷神社と並んで「高森の大ケヤキ」がそびえています。まさに御神木で、王者の風格をなし、四季折々に人々を楽しませてくれます。

1956（昭和31）年に新潟県の天然記念物に指定されました。目通り（目の高さに相当する位置の幹の太さ）10m、高

さはおよそ20m、推定樹齢1200年です。現在、県内のケヤキのなかでは、柏崎市の鵜川神社の大ケヤキに次いで、2番目の大きさです（目通りで比較）。

しかし、老樹のため腐朽菌病が進行し、幹や枝の空洞化が目立っています。集落の人たちは、樹勢を維持するため、支柱で枝を支え、肥料をやるなど、地区のシンボルを守り伝えようと、保護増殖に努めています。



北区唯一の県天然記念物 高森の大ケヤキ

『北区お宝ものがたり』は、博物館などで1冊800円で頒布しています。